

イクボスが
増えれば
社会が変わる

鹿児島市イクボス推進同盟

IKU BOSS
KAGOSHIMA

取 組 事 例 集

【企業・団体名】 株式会社プライムアシスタンス 鹿児島センター

代 表 者 : 部長 高松 雅木
事業内容 : アシスタンス事業(ロードアシスタンス、ホームアシスタンス等のコールセンター)
所 在 地 : 鹿児島市中央町11 鹿児島中央ターミナルビル4F
従業員数 : 445 名(男性 68 名、女性 377 名)

【会社の取り組み】

- 1、全管理職のイクボス宣言(2017年11月)
- 2、仕事と子育ての両立支援制度
 - (1)社員が母親になる時の制度(妊娠時・出産前後・育児に専念するため・仕事と育児の両立のための制度)
 - (2)社員が父親になる時の制度(妻の出産時・育児に専念するため・仕事と育児の両立のための制度)
- 3、介護に関する制度
- 4、その他
 - (1)アニバーサリー休暇制度
 - (2)各種補助金

※詳細については別紙をご参照ください。(従業員向け配付資料より一部抜粋)

【これまでの実績】

- ・妻が出産のための有給休暇取得率:100%(4名)
- ・産育休取得者22名(終了者8名 現在取得中10名)
- ・時間外勤務の状況:1人1ヶ月当たり平均9時間51分(平成30年4月～9月)
- ・アニバーサリー休暇取得率:100%

【社員の声】

- ・妻の出産時に休暇を取得でき、大変助かりました。家族と相談して育休についても取得を検討したいと思います。(30歳代男性)
- ・以前の職場では取りづらい雰囲気でしたが、こちらはたくさんの方が育休を取っているので取得しやすかったです。(30歳代女性)

【今後の取り組み・目標】

- ・出産、育児に対する男性社員の意識を高め、時短勤務や育休取得者を増やしていきます。
- ・有給休暇の取得や勤務時間の管理を徹底し、時間外勤務の更なる削減に取り組みます。

プライムアシスタンスの仕事と子育ての両立支援制度（2018年4月現在）

～女性が出産・育児を経て長く働き続けるための職場環境づくり、ワーク・ライフ・バランスの実現を支援します～

※各制度を適用する際には、一定の要件があります。

ママのための制度

妊娠したら利用できる制度

- ・通院休暇
産前産後の女性が、健康診査等（妊婦健診など）のために医師の指示により通院する場合に取得できます。
- ・育児短時間勤務制度 ※1
(合計3日まで有給)
- ・所定外労働の免除、時間外・深夜勤務の制限 ※2

出産前後に利用できる制度

- ・産前産後休暇
出産前8週間および出産後8週間
※健康保険組合より、出産手当金・出産一時金の給付があります。

育児に専念するための制度

- ・育児休業（最長2歳1ヶ月まで）
※一定の要件を満たした場合、雇用保険より「育児休業給付金」の給付対象となります。

仕事と育児を両立するための制度

- ・育児短時間勤務制度 ※1
- ・所定外労働の免除、時間外・深夜勤務の制限 ※2
- ・育児時間 ※3
- ・病児保育補助金（※資料7.福利厚生制度参照）
- ・子の看護休暇（有給）
小学校就学前の子を養育する場合、子供の病气やけがの世話・看病、健康診断、予防接種等のための休暇を、子が1人の場合年度内に5日、2人以上の場合は10日取得することができます。

パパのための制度

妻の出産のための制度

- ・慶弔休暇
配偶者に子供が生まれたら2日間の慶弔休暇を取得できます。(有給)

育児に専念するための制度

- ・育児休業（妻の出産日から取得可能。最長2歳1ヶ月まで）
※一定の要件を満たした場合、雇用保険より「育児休業給付金」の給付対象となります。

※1 育児短時間勤務制度

妊娠中または小学校4年生4月末までの子と同居し、養育する場合、勤務時間を4時間まで短縮または繰り上げおよび繰り下げすることができます。

※2 所定外労働の免除、時間外労働・深夜勤務の制限

妊娠中または小学校就学前の子を養育する社員は、残業の免除もしくは制限、深夜勤務制限を申し出ることができます。

※1・2は、妊娠中を除き、勤続1年未満の場合は対象外

※3 育児時間

子が満1年に達するまでの期間、上記育児短時間勤務制度とは別に、1日に2回（各30分）の育児時間（授乳等の時間）を取得することができます（女性のみ）。

介護に関する制度について

両立支援制度として、介護に関するサポート制度も充実しています。

- ・介護休業・・・介護対象家族につき最大1年まで・3回まで分割可能)
- ・介護休暇・・・介護対象家族が1人の場合年度内に5日、2人以上の場合は10日まで取得可能) (有給)
- ・介護のための深夜業の制限・時間外勤務の免除
- ・介護短時間勤務制度・・・勤務時間を4時間まで短縮

社員全員が明るく、心も体も健康的に永く働き続けられるよう、会社全体でサポートします！



アニバーサリー制度・各種補助金

■アニバーサリー制度 ※入社翌年度から対象

項目	内容	対象者
アニバーサリー休暇	誕生日月等にアニバーサリー休暇1日を取得できます。	正社員 契約社員 嘱託社員 スタッフ
アニバーサリープレゼント	アニバーサリー休暇取得月にお祝いとして3,000円相当の品（食事券等）を会社からプレゼントします。	正社員 契約社員

■各種補助金制度

内容	支給要件	対象者	支給額
資格取得補助金	社員の能力開発支援として、会社が指定した資格を取得した場合に支給を行う。取得時に対象資格の受験料と同額を支給します。	正社員 契約社員 嘱託社員	別表の通り
病児保育補助金	子供を病児保育に預けて出勤した場合、1日上限3,000円、1ヶ月3回を限度に 病児保育費用の実費を支給。 ※自治体等から補助がある場合は、3千円から補助金額を控除した額が限度	正社員 契約社員	実費 ※領収書提出要
インフルエンザ予防接種補助金	会社が指定する時期にインフルエンザの予防接種を摂取した場合、上限2,000円を限度に実費を支給します。	正社員 契約社員 嘱託社員 スタッフ	実費 ※領収書提出要

【企業・団体名】 国立大学法人 鹿児島大学

代 表 者 : 学長 前田 芳實

事業内容 : 教育・研究

所 在 地 : 鹿児島市郡元1丁目21番24号

従業員数 : 3,714 名(男性 1,898 名、女性 1,816 名)

【会社の取り組み】

- 原則毎週金曜日をノー残業デーとしています。
- 育児休業は最長3年、介護休業は最長184日まで取得可能です。
- 就学前の子を養育する場合は、最長で1日2時間の勤務時間短縮が可能です。
- 有給休暇を時間単位で取得可能です。
- 土日祝日での勤務等により、緊急かつやむを得ず学外の保育サービスを利用した場合に、その利用費の一部補助を行っています。(保育支援制度)
- 子育て中の教職員のキャリア継続支援のため、就学前の子を預けられる保育園を設置し、平成30年10月1日に開園しました。

【これまでの実績】

- 育児休業取得者数: 女性130人、男性3人(平成29年度)
- 育児部分休業取得者数: 女性19人、男性0人(平成29年度)
- 超過勤務の状況: 1人1月あたり平均21.6時間(平成29年度)
- 保育支援制度利用状況: 利用者10名、利用回数38回(平成29年度)

【社員の声】

- 生まれたばかりの子どもと一緒に貴重な時間を過ごせました。妻の育児の苦労はもちろん、家事の大変さも身をもって知ることができました。育休を取得させてくださった職場の皆さまに心から感謝しています。(育児休業取得・30代男性)

【今後の取り組み・目標】

- 平成33年度末までに、超過勤務を1人1月あたり平均20時間まで縮減を目指します。
- 保育園利用園児数を、定員40名の達成を目指します。

【企業・団体名】 富士ゼロックス鹿児島 株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 金子 努
事業内容 : 富士ゼロックス製品を中心とした複合機、プリンタ等OA機器の販売・保守
所 在 地 : 鹿児島市下荒田1-1-1
従業員数 : 126 名(男性 103 名、女性 23 名)

【会社の取り組み】

◇毎週水、木曜にノー残業デーの実施
◇事務所入退出可能時間設定(7時～20時)による、深夜残業の禁止
◇フレックスタイム制導入による柔軟な働き方
◇有給休暇を時間単位、半日単位、一日単位で取得可能
◇短時間勤務制度

【これまでの実績】

◇所定外労働時間 17.5h/人(平成29年度)
◇育児休業取得率 平成28年度 女性100% 男性0% (平成29年度は該当なし)
◇妻の出産時の特別休暇取得率100%(平成29年度)
(第一子出産時 2日間／第二子出産以降 5日間)

【社員の声】

◇子どもの急な発熱時に有給休暇を取りやすい環境には感謝(40代男性)
◇子どもの保育園のイベント時に休暇がとれて、子どもも大変喜んでくれました(40代女性)

【今後の取り組み・目標】

◇所定外労働時間 13時間を目指します(10時間オペレーション中)
◇男性育児休業者を増やしたい

【企業・団体名】 株式会社 プロゴウス

代 表 者 : 代表取締役 和田秀一郎
事業内容 : BPOサービス業
所 在 地 : 鹿児島市南栄三丁目1番4
従業員数 : 68 名(男性 42 名、女性 26 名)

【会社の取り組み】

- ノー残業デーの設置
毎月第2、第3水曜日をノー残業デーとしています。
- バースデー休暇の取得推進
誕生月にバースデー休暇を取得する様、全員(各部署)に働きかけています。
- 取得しやすい休暇制度・・・5日を限度に1時間単位での取得ができる様になっています。
- インフルエンザ予防接種・・・全従業員対象に接種/費用会社負担
- 健康診断時のオプション項目については半額を会社が負担し、多くの従業員が利用しています。

【これまでの実績】

- 超過勤務(時間外就労)・・・2017年(半年)、2018年半年の比較
4656h → 3150h ⇒ ▲32.5%
- 有給取得率(昨年度実績)・・・会社全体75.8%(営業・事務系・・・80% 生産/製造系・・・63.2%)

【社員の声】

- 時間単位の有給休暇が取得できることで、子供のPTAや通院、送迎等に有難い。本人の役所や銀行への所用に使えることが有難い。

【今後の取り組み・目標】

- ノー残業デーを毎月2回を毎週1回に変更したい。
(月2回→月4回)

【企業・団体名】 社会福祉法人 愛心会

代 表 者 : 理事長 政田 敬次
事業内容 : 福祉業・介護業
所 在 地 : 鹿児島市下福元町9057
従業員数 : 248 名(男性 90 名、女性 158 名)

【会社の取り組み】

○育児休業・・・産前・産後休業期間と育児休業期間との合計が1年を限度とし、取れる。
(ただし、1歳6ヶ月以内)
○深夜業の制限・・・必要に応じて昼間勤務へ転換させることができる。
○育児短時間勤務・・・職員で3歳に満たない子が同居する者は、1日の所定労働時間が6時間以上である者は2時間を超えない範囲で30分単位で勤務時間を短縮することができる。

【これまでの実績】

・有給休暇取得率:27.7%
・育児休業取得率:女性100%

【社員の声】

○授業参観出席の為、半日休暇を取得しました。子供も喜んでくれてうれしかったです。

【今後の取り組み・目標】

○ノー残業DAYを月3回、4回と設定日を増やしていく予定です。

【企業・団体名】 株式会社 アリマコーポレーション

代 表 者 : 代表取締役 有馬 正治
事業内容 : 水道資材卸売業及び建設工事業
所 在 地 : 鹿児島市新栄町20番21号
従業員数 : 119 名(男性 88 名、女性 31 名)

【会社の取り組み】

- ノー残業デーの設置
 - ・毎月19日を育児の日と定め、ノー残業デーと致しております。
- 取得しやすい休暇制度
 - ・年次有給休暇の取得促進
 - ・育児休暇は、当該子1名につき、年5日間の特別休暇を付与
 - ・短時間勤務制度
 - ・子の看護休暇は、時間単位で取得可能

【これまでの実績】

- 平成29年度実績
- 有給休暇取得率 45.6%
 - 育児休業取得率 女性100%
 - 子の看護休暇取得率 13.2%

【社員の声】

子供の急な発熱の時などに子の看護休暇を取得しています。
時間単位で取得できるので大変助かっています。

【今後の取り組み・目標】

- 働き方改革の一環として、残業の削減を目指し、遅くとも19時30分を目途に退社し、家族と過ごす時間を増やす。
- 有給休暇取得率50%以上を目指す。

【企業・団体名】 株式会社 植村組

代 表 者 : 代表取締役 桑原 宏志
事業内容 : 総合建設業
所 在 地 : 鹿児島市下伊敷五丁目9番8号
従業員数 : 228 名(男性 211 名、女性 17 名)

【会社の取り組み】

- 1、仕事を効率的に終わらせ早く帰る部下を評価します。
- 2、土日、定時以降には、仕事の依頼をしません。
- 3、無駄に残らず、率先して早く帰ります。
- 4、「え、男なのに育休？」などとは絶対に思いません。
- 5、部下のどんな相談にも応じます。
- 6、子育て、介護をしながら仕事ができるようサポートしていきます。

【これまでの実績】

昨年実績
○育児休暇
男性育児休暇取得 1名(1ヶ月)
女性育児休暇取得 1名(1.5年)
○介護休暇
男性介護休暇取得 2名(3ヶ月)

【社員の声】

業務が忙しい中でしたが、周囲の皆さんの協力のもと、無事に長男を出産し、産前産後、育児休暇を安心して取得することができました。そして、子供が保育園に入園後、会社に戻りましたが、出社時間や退社時間等考慮していただき大変ありがたかったです。

【今後の取り組み・目標】

男性女性ともに育児・介護休暇が取りやすい環境を創出していきます。
女性従業員の出産時の育児休暇取得 100%
男性従業員の育児休暇取得 毎年1名以上
両親の介護休暇取得 毎年1名以上

【企業・団体名】 内村建設 株式会社

代 表 者 : 代表取締役 内村 二郎

事業内容 : 総合建設業

所 在 地 : 鹿児島市上本町2番12号

従業員数 : 45 名(男性 38 名、女性 7 名)

。

【会社の取り組み】

- ・省エネデー(ノー残業デー)の実施
第一、第三土曜日
- ・うちじょ会活動(女性活躍プロジェクト)
職場環境改善
- ・職員互助会
出産祝金、懇親会、家族参加型イベントなど

【これまでの実績】

- ・社員の子ども学校行事出席 10名
- ・育児、介護休業実施(過去5年間)
- ・役員自ら、子ども行事へ参加

【社員の声】

- ・役員や上司が率先して子どもの行事に参加しており、休みが取りやすい環境になっている(40代男性)
- ・介護休暇を取得し、母の介護をし、最後を看取ることができ感謝しております。(40代女性)

【今後の取り組み・目標】

- ・省エネデーを週1回にしていく予定(現場も)
- ・家族参加型イベントを定期的に実施し、相互理解を深める環境作りを行う。

【企業・団体名】 株式会社 鹿児島銀行

代 表 者 : 取締役頭取 上村 基宏
事業内容 : 金融業
所 在 地 : 鹿児島市金生町6-6
従業員数 : 2,257 名(男性 1,375 名、女性 882 名)

【会社の取り組み】

○両立支援
・育児休業:子が2歳まで取得可 ・介護休業:184日まで取得可
・育児のための勤務時間短縮制度:子が小学校3年生まで取得可
・キャリアアドバイザーによる育休復職者への面談の実施
・企業主導型保育所設置 ・出産祝金制度の新設(H30. 10~)
○労働時間管理
・リフレッシュデー(原則毎週水曜日)、リフレッシュウィーク(2月と8月の各1週間)
・19時完全退行
・朝型勤務、インターバル勤務の導入

【これまでの実績】

(平成29年度)
・有給休暇取得率:67. 2%
・育児休業取得率:(女性)100%、(男性)48. 6%

【社員の声】

・通勤経路に企業内保育所があり、安心して復職することができました。(30代女性)
・19時退行するようになったことで、子どもとの時間が増えました。(30代男性)

【今後の取り組み・目標】

・休暇制度の拡充

【企業・団体名】 鹿児島国際観光 株式会社

代 表 者 : 代表取締役 奥 智行
事業内容 : ホテル業
所 在 地 : 鹿児島市与次郎一丁目8番10号
従業員数 : 167 名(男性 109 名、女性 58 名)

【会社の取り組み】

○有給休暇を利用した5日連続休暇を年1回取得するよう制度化した。
○有効な時間の活用を目的とし、部署間で連携し人員の交流を図る。
○OWRBについて話しやすい環境作りを目指している。

【これまでの実績】

・連続休暇制度は初めて3年目になったが、2年目実績では対象者の7割強が取得した。
3年目は9割を目標に各部署の所属長に働きかけている。
その他の有給休暇取得も増加傾向となっている。

【社員の声】

・部署ごとに計画を立て交替で休暇を取ることで、業務の効率化や休暇中スタッフの業務のカバーなどチームワークが良くなり、雰囲気も良くなった。旅行に行く者が多く楽しみが出来たとの声が多い。

【今後の取り組み・目標】

・残業の軽減を目的に、部署間での業務のヘルプ体制を構築していきたい。

【企業・団体名】 鹿児島国際大学

代 表 者 : 学長 津曲 貞利
事業内容 : 教育関係
所 在 地 : 鹿児島市坂之上8-34-1
従業員数 : 181 名(男性 121 名、女性 60 名)

【会社の取り組み】

- 次世代支援休暇の取得促進
 - ・中学生を卒業するまでの子を持つ職員が、入学式・卒業式・PTA等の子に係る行事に積極的に参加できるように、特別休暇として半日単位で取得できる(5日以内)次世代支援休暇の取得を促進している。
- ノー残業デーの設置
 - 『5時からの 大事な仕事 健康管理』をスローガンに掲げ、各部局曜日を設定して。
- 年次有給休暇の取得促進
 - ・月1日以上取得する日を決め(予定化)、年次有給休暇の取得を促進している。
 - ・自分や家族の誕生日など、記念日の年次有給休暇の取得を促進している。
 - ・ゴールデンウィークなど飛び石連休や、祝日と休日の間に年次有給休暇を取得するブリッジホリデーを推進している。

【これまでの実績】

- ・有給休暇取得率 1人あたりの年休日数1.9日(平成29年4月～9月実績)
 - ↓
 - 1人あたりの年休日数2.2日(平成30年4月～9月実績)
- ・超過勤務の状況 1人1か月あたり平均23時間(平成28年度)
 - ↓
 - 1人1か月あたり平均17時間(平成29年度)

【社員の声】

- ・入学式や授業参観に次世代支援休暇を利用しています。子供が大変喜んでくれて、快く休みが取れる職場環境に感謝しています。(40代女性)
- ・育児休暇・短時間勤務・次世代支援休暇等の制度を利用して仕事を続けてきました。周囲の方々の理解もあり恵まれた環境に感謝しています。(30代女性)

【今後の取り組み・目標】

- ・個人の1年間の年次有給休暇取得目標を「6日」とする。

【企業・団体名】 鹿児島市

代 表 者 : 市長 森 博幸

事業内容 : 行政

所 在 地 : 鹿児島市山下町11-1

従業員数 : 5,520 名(男性 3,703 名、女性 1,817 名) (平成29年4月1日現在)

【会社の取り組み】

○「第二次鹿児島市職員子育て支援行動計画」を策定し、仕事と子育ての両立の推進が図られるよう、取り組みを進めている。

【育児休業等】

・育児休業…子が3歳に達するまで

・部分休業…子が小学校就学の始期に達するまで。1日2時間(30分単位)

【休暇制度】

・妻の出産補助及び育児参加のための特別休暇

…妻の出産にかかる入院の付添い等や妻の産前産後期間中に、当該出産に係る子または小学校就学の始期に達するまでの子を養育する場合、当該期間内に7日間

・子の看護休暇…1年度に子1人につき5日、2人以上で10日(1日または1時間単位)

・介護休暇…通算して6月の期間内(3回以下)

○各職場において、ワークライフバランス促進のための取り組み目標を設定し、取り組んでいる。

・週1回、ノー残業デーの実施

・年次休暇および夏季休暇の取得促進

・時間外勤務の縮減

・時差出勤の活用

【これまでの実績】

・育児休業取得率 男性8.3% 女性100%(平成29年度、市長事務局・教育委員会)

・男性の配偶者出産休暇等取得率 92.9%(平成29年度、市長事務局・教育委員会)

・超過勤務の状況 1人1月あたり平均13.2時間(平成29年度、市長事務局・教育委員会)

・年次休暇等取得率 32.5%(平成29年度、市長事務局・教育委員会)

・年次休暇の平均取得日数 12.1日(平成29年度、市長事務局)

【社員の声】

・二人目の育児休業取得時に、上の子とも関わる時間を持てて良かった。家族や家のことにじっくりと向き合うことができる時間を持てたことは、本当に貴重な経験だった。(女性)

・育休を取得したことで、日中どんな流れで、育児や家事が行われているか知ることができたので、育休明けは、休日はなるべく妻の負担を減らすように心掛けるようになった。また、これまで以上に、ワークライフバランスを意識するようになった。(男性)

【今後の取り組み・目標】

・育児休業の取得率:平成31年度までに、男性5%の達成、女性は100%の現状を維持

・妻の出産補助及び育児参加のための特別休暇の取得率:平成31年度までに、子どもが生まれた男性100%の達成

・時間外勤務時間が月45時間を超えた職員数:平成31年度までに平成26年度に比べて10%の減少

・年次休暇の平均取得日数:平成31年度までに平成26年度に比べて10%の増加

【企業・団体名】 公益社団法人 鹿児島市医師会

代 表 者 : 会長 上ノ町 仁

事業内容 : 医療業(鹿児島市医師会病院、鹿児島市夜間急病センターを含む)

所 在 地 : 鹿児島市加治屋町3番10号

従業員数 : 569 名(男性 162 名、女性 407 名)

【会社の取り組み】

・子供が生まれる際の父親の休暇の取得促進。
現在、配偶者出産時に特別休暇が3日あり、半日単位で複数回に分けて取得出来ることの周知・啓発を行っている。

【これまでの実績】

・有給休暇取得率 66.0%(平成29年度)

【社員の声】

【今後の取り組み・目標】

・育児・介護休業法等に基づく諸制度の周知を行う。

【企業・団体名】 鹿児島純心女子短期大学

代 表 者 : 学長 平山 久美子
事業内容 : 私立短期大学
所 在 地 : 鹿児島市唐湊4丁目22番1号
従業員数 : 87 名(男性 29 名、女性 58 名)

【会社の取り組み】

・子育て支援関連の休暇等の制度……………詳細は別紙のとおり

①産前・産後休暇 ②出産補助休暇 ③育児休業 ④子の看護休暇 ⑤育児時間休暇
⑥育児短時間勤務 ⑦結婚休暇

【これまでの実績】

・有給休暇取得率 25.2%(平成29年度)
・育児休暇取得率 男性職員 0%(平成29年度)
女性職員 100%(平成29年度)

【社員の声】

・今後、未就学児をもつ女性職員への配慮が必要となるのではないか。
(人事や勤務の面で)

【今後の取り組み・目標】

・有給休暇取得の促進
(たとえば、月1日は年休を取得するように各課等で工夫する。)

結婚・出産・育児等への支援

鹿児島純心女子短期大学

平成30年10月

	・学園就業規則 ・育児・介護休業等規則 (労働基準法)	給付・休業の補償等	
		私学共済	雇用保険
結婚	結婚休暇 5日 (学園就業規則第40条 「特別休暇」)	結婚手当金 80,000円	
出産 (本人・配偶者)	※配偶者出産の場合2日以内 (学園就業規則第40条 「特別休暇」)	出産費 (家族出産費) ・産科医療補償制度の対象分娩 420,000円 (対象外分娩 404,000円) 出産費賦課金 50,000円	
出産 による休業 (産前・産後)	産前休暇 ＝(産前6週間) 出産の日(出産の日が産前の予定 日後のときは、産前の予定日)以 前6週間 (多胎妊娠14週間) ※ 出産日は産前休暇 産後休暇 ＝(産後8週間) 出産の日の翌日から8週間 ※ 給与は支給されない。 (学園就業規則第40条 「特別休暇」)	※申請により掛金は免除 出産手当金 休業(産前・産後休暇)期間中 標準給与の日額の8割を支給	
育児休業 (本人・配偶者)	育児休業 子が1歳に達するまでの間 (一定の場合1歳6か月まで) ※ 給与は支給しない (学園育児・介護休業等規則)	※申請により掛金は免除	育児休業給付金 賃金日額×支給日数 ×67% (6か月経過後は50%)
他 子育て関係	子の看護休暇 未就学児の養育 1人につき年間5日 (2人以上 10日) 育児時間休暇 1歳未満の子の養育 1日2回分各々30分 育児短時間勤務 3歳未満の子の養育9:00～16:00 (時間給換算額を支給)		

【企業・団体名】 鹿児島女子短期大学

代 表 者 : 学長 幾留 秀一

事業内容 : 学校教育

所 在 地 : 鹿児島市高麗町6-9

従業員数 : 80 名(男性 35 名、女性 45 名)

【会社の取り組み】

○取得しやすい休暇制度

* 育児休業…1年取得可能

* 介護休業…93日まで取得可能

* 育児短時間勤務は、子が満3歳に達する日まで取得可能、また介護短時間勤務の制度あり

* 子の看護休暇及び介護休暇は、対象者1人につき年間5日取得可能

* 有給休暇…半日単位で取得可能

【これまでの実績】

○【いずれも平成29年度実績】

* 有給休暇取得率…22%

* 超過勤務の状況…1人1月あたり 平均約1.5時間

【社員の声】

【今後の取り組み・目標】

有給休暇及び育児休業等の取得推進に取り組んでいる。
(現在、時間単位での有給休暇取得の制度見直しを検討中。)

【企業・団体名】 鹿児島製茶 株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 森 裕之
事業内容 : 茶の製造・卸・小売
所 在 地 : 鹿児島市南栄3-11
従業員数 : 110 名(男性 53 名、女性 57 名)

【会社の取り組み】

○ノー残業デーの実施・・・毎週木曜日(閑散期のみ)
○看護休暇、介護休暇の導入
1日単位、半日単位だけでなく、急な対応ができるよう、時間単位でも取得できるようにしている。
○リフレッシュ休暇、メモリアル休暇
定休2日＋有給休暇3日の連続使用によるリフレッシュ休暇、
半年に1回、年2回の有給休暇取得のメモリアル休暇を導入

【これまでの実績】

・育児休業取得 女性、男性ともに100%(H29年～H30年10月)
夫婦で当社に在籍、女性は産前産後休業を経て、育児休業を取得。男性も連続5日間の育児休業を取得
他に、女性社員はH30年4月に育児休業より復帰し、業務を行っています。

【社員の声】

時間単位の看護休暇など、他企業ではまだ取り入れていない制度があり、休みが取りやすいが、小学生の子どもへの看護休暇は認められていない為、活用に難点を感じる。

【今後の取り組み・目標】

介護休暇の対象を小学生未満から小学生以下へ変更

【企業・団体名】 鹿児島相互信用金庫

代 表 者 : 理事長 稲葉 直寿
事業内容 : 金融業
所 在 地 : 鹿児島市与次郎1丁目6番30号
従業員数 : 650 名(男性 444 名、女性 206 名)

【会社の取り組み】

○育児休業及び子の看護のための休暇取得の推進
○連続休暇の取得推進
○「ノー残業デー」、「育児の日」の設置
毎週第1、2、3水曜日をノー残業デーとしています。
○育児・子育てに関する講演会や親子参加型のイベントを実施

【これまでの実績】

○男性の育児休業1名(平成29年度、3ヶ月間)、男性の子の看護のための休暇7名(計8日)
○連続休暇取得率87.3%(平成29年度)
○親子ふれあい教室を実施(平成30年8月開催)

【社員の声】

・育児休業を3ヶ月取得できる職場環境には大変感謝しています。(30代男性)
・親子ふれあい教室は、子供との良い夏の思い出になりました。(30代男性)

【今後の取り組み・目標】

・育児休業及び子の看護のための休暇者数を増やす。
・連続休暇の取得率を上げる。
・定時退庫の推進を図る。

【企業・団体名】九州電力株式会社 鹿児島支社

代 表 者 : 執行役員 鹿児島支社長 中野 隆
事業内容 : 電気
所 在 地 : 鹿児島市与次郎2丁目6番16号
従業員数 : 567 名(男性 512 名、女性 55 名)

【会社の取り組み】

- ・インターバル勤務制度
- ・一定時刻までの(20時)一斉退社
- ・週1日以上の日確保

【これまでの実績】

- <H27~29実績>
- ・女性社員の育児休業取得率 99.1%
 - ・男性社員の育児休業取得者数 7名
 - ・男性社員の配偶者が出産する際の休業取得率 94.3%

【社員の声】

- ・仕事と家庭(育児・介護)を両立する不安

【今後の取り組み・目標】

- ・柔軟な勤務制度の利用促進
- ・職場の理解促進

【企業・団体名】 社会福祉法人 慶生会

代 表 者 : 理事長 川窪 眞由美

事業内容 : 社会福祉事業

所 在 地 : 鹿児島市下福元町1732番地

従業員数 : 255 名(男性 69 名、女性 186 名)

【会社の取り組み】

- ・ノー残業デーの設置
- ・有給休暇の取得促進(半日や時間単位での取得が可能)
- ・夏休みの企画として「お父さん・お母さんの職場を体験してみよう」という親子参加型の企画実施

【これまでの実績】

- ・育児休業取得率 100%
- ・超過勤務の状況 1.4時間(1人当たり年平均)

【社員の声】

- ・職場環境の改善を随時行っていただき、ありがとうございます。

【今後の取り組み・目標】

- ・男性の育児休業の取得率の増加を目指します。

【企業・団体名】 コーアツ工業 株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 吉田 三郎
事業内容 : 建設業
所 在 地 : 鹿児島市伊敷5丁目17番5号
従業員数 : 236 名(男性 226 名、女性 10 名)

【会社の取り組み】

- ノー残業デーの設置
毎週水曜日をノー残業デーとしています。
夕方、定時に総務担当者がノー残業デーの呼びかけを行っています。
- 取得しやすい休暇制度
育児休業は2年、介護休業は93日まで取得できます。
小学校就学前の子どもを養育する場合は、最長で1日2時間の勤務時間短縮が可能です。
有給休暇を1時間単位で取得可能です。

【これまでの実績】

- ・有給休暇取得率 71.4%(平成29年度)
- ・育児休業取得率 女性 -(該当なし) 男性20.0%(平成29年度)
- ・超過勤務の状況 1人1月あたり平均20.9時間(平成29年度)
- ・介護休暇取得率 -(該当なし)(平成29年度)
- ・子供の看護のための休暇取得率
- ・出産補助及び育児参加のための特別休暇取得率60%(平成29年度)

【社員の声】

- ・2人目の子供が生まれた際に、日数は短いですが育児休暇を取得しました。出産直後に1人目の子供の相手をする事が出来たので、妻から助かったと言われました。(30代男性)
- ・有給休暇制度が時間単位で使用できるので、仕事帰りに通院する際、非常に便利でした。(20代女性)

【今後の取り組み・目標】

- ・平成35年までに、育児休業取得率50%を目指し、管理職社員は育児休業の取得促進に向けた環境づくり及び意識改革を図る。
- ・出産補助及び育児参加のための特別休暇取得率60%を維持する。

【企業・団体名】 志學館大学

代 表 者 : 学長 松岡 達郎

事業内容 : 教育・研究

所 在 地 : 鹿児島市紫原1-59-1

従業員数 : 92 名(男性 51 名、女性 41 名)

【会社の取り組み】

- ・時差出勤(平成30年8月から)
8:30～17:15勤務の他、7:30～16:15、9:30～18:15というような時差出勤を実施
- ・有給休暇の促進

【これまでの実績】

- ・有給休暇取得日数…平均8日
- ・夏休み期間に一斉に有給休暇取得

【社員の声】

- ・時差出勤によって退勤後の余暇が増え、ワークライフバランスへの意識が高まりました。

【今後の取り組み・目標】

- ・有給休暇の取得促進を徹底する
- ・育児休暇取得促進

【企業・団体名】 社会福祉法人 寿康会

代 表 者 : 理事長 前田 義博
事業内容 : 老人福祉事業
所 在 地 : 鹿児島市本名町234番地
従業員数 : 162 名(男性 55 名、女性 107 名)

【会社の取り組み】

女性が多く働く職場であり、働く女性を応援しようと平成24年に法人の福利厚生として企業所内託児所を開設。10ヶ月目以降から子供を預けられ保育園や幼稚園よりも金額を低く設定。また、子供の行事に合わせられる勤務シフトや希望休を取りやすい環境作りに取り組んでいます。

【これまでの実績】

・育児休業取得率 女性 100% 男性1%
・有給休暇取得率 45%(29年度)

【社員の声】

・2人目の出産に合わせて育児休業を取得する事で家族や子供に対しての係る気持ちがありました。(30代男性)
・子供の行事には、父、母で参加しやすい職場環境に感謝しています。(男性・女性)

【今後の取り組み・目標】

・男性の育児休業取得率のアップ

【企業・団体名】 医療法人 ショコラ

代 表 者 : 院長 西本 紀一郎
事業内容 : しょくらクリニック
所 在 地 : 鹿児島市紫原4丁目32番20号
従業員数 : 14 名(男性 2 名、女性 12 名)

【会社の取り組み】

有給取得率60% 育休産休の積極的な取得と院職員の託児所の利用を推進する

【これまでの実績】

産休2名取得中
託児所利用2名(昨年4名)

【社員の声】

働きやすい職場管理、自由に就業できて良い。

【今後の取り組み・目標】

現在の取り組みをすすめながら、平均賃金の上昇を目指す

【企業・団体名】 城山観光 株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 東 清三郎
事業内容 : 宿泊業
所 在 地 : 鹿児島市新照院町41-1
従業員数 : 822 名(男性 357 名、女性 465 名)

【会社の取り組み】

- 休みやすい環境づくり
 - ①半休制度、NO会議デーの導入
- 両立支援
 - ①男性の育児休業取得促進に向けた個別対応
 - ②子供が小学校6年生まで利用できる短時間勤務制度

【これまでの実績】

- ・育児休業取得率 平成29年度 女性100% 男性5.6%
- ・介護休業取得者 平成30年度実績 1名(10/17現在)
- ・育児短時間勤務制度利用者 平成30年度実績3名(10/17現在)

【社員の声】

- ・半休制度が導入されて休みが取りやすくなった。とても利用しやすい。(40代管理職)
- ・子育ての大変さがとても身にしみてわかりました。城山でもこれから男性育児休暇があたり前に取得できるようイクメン達に育児休暇の大事さを伝えて行きたいと思います。(30代男性)

【今後の取り組み・目標】

- ・連続休暇の取得促進
現在は一部の部署で取得できていないので、全社的に取得するよう促進していきます
- ・男性の育児休業の取得率UP
2020年までに男性の育児休業取得率13%を目指します

【企業・団体名】 株式会社 新日本科学

代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 永田 良一
事業内容 : サービス業
所 在 地 : 鹿児島市宮之浦町2438
従業員数 : 893 名(男性 443 名、女性 450 名)

【会社の取り組み】

- ・小学校就学前の子どもを養育する場合は最長で1日2時間の勤務時間短縮が可能です。
- ・有給休暇は2時間単位で取得可能です。
- ・実質的フレックス勤務やテレワークを可能としています。
- ・事業所ぐるみで残業削減に取り組み、平成29年度は前年比約－40%を達成しました。
- ・平成19年12月から事業所併設託児所を設置。
- ・女性活躍促進のための取り組み「働くなでしこ委員会」を発足させ(平成26年7月)、保育料補助制度や、半日有給休暇制度の導入など具体的な制度構築等を行いました。

【これまでの実績】

- ・有給休暇取得率:67.2%(平成29年度)
- ・育児休業取得率:女性100%、男性5%(平成29年度)
- ・超過勤務状況:通常勤務者 8.9時間

【社員の声】

- ・育児休業を取得することで改めて育児の大変さが分かり、特に共働きの場合は両立を支援してくれる職場環境づくりを進めていかないといけないと実感しました。(40代男性)
- ・会社のメリットを含めた説明と積極的な後押しもあり、取りやすくなりました(40代男性)

【今後の取り組み・目標】

平成30年度は男性育児休業取得率13%を目指して啓発活動を進めています。

【企業・団体名】 株式会社 総広

代 表 者 : 代表取締役 船川 邦香
事業内容 : 広告代理業
所 在 地 : 鹿児島市堀江町12番14号SKビル2階
従業員数 : 22 名(男性 15 名、女性 7 名)

【会社の取り組み】

ノー残業デー(水曜日)・早帰りデー(月1回)・フレックスタイム導入
育児休業1年半、介護休業93日
短時間労働・有給休暇(時間休取得可能)

【これまでの実績】

育児休業取得率(女性100%・男性18%)
介護休暇(4.5%)

【社員の声】

・育児休業をした後、短時間勤務にしてもらい子供の行事や家事に時間をかける事ができています。
(30代女性)
・育児休業を取得して立ち合い出産、育児のサポートができました。

【今後の取り組み・目標】

若い社員が多いので、男性の育児休業率を20%まで出来るよう目指します。

【企業・団体名】 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 鹿児島支店

代 表 者 : 支店長 宮原 秀樹

事業内容 : 損害保険業

所 在 地 : 鹿児島市中央町11番地

従業員数 : 209 名(男性 69 名、女性 140 名) (2018年10月現在)

【会社の取り組み】

○ノー残業デーの設置

水曜日をノー残業デーとしています。(18:00退社)

○休暇制度について

- ・育児休業制度は、子どもが満2歳1カ月に達するまで休業でき、男女問わず取得できます。
- ・男性社員の育児休業取得推進のため、短期育休(7日以内・有給)を設けています。
- ・その他 テレワーク、モバイルワーク、シフト勤務、半日休暇等の制度があります。

【これまでの実績】

○育児休業取得者数:1536名(対象期間2016年4月～2017年3月、全社ベース)

○育児休業取得後の復職率:96.6%(対象期間2016年4月～2017年3月、全社ベース)

○イクボスセミナーの開催(2015年以降・開催)

【社員の声】

- ・シフト勤務や半日休暇を活用し、子どもの送迎や学校行事に参加できた。
- ・役職者が育休を取得することで部下の制度理解と利用促進に繋がった。(男性社員)

【今後の取り組み・目標】

- ・男性短期育休取得率100%をめざし、推進しています。
- ・柔軟な働き方(テレワーク、モバイルワーク、シフト勤務)を実現し、効率化をめざしています。

【企業・団体名】 大和リース株式会社 鹿児島支店

代 表 者 : 支店長 溜池 國春
事業内容 : プレハブ建築、商業施設開発、土地活用、PPP-PFI 他
所 在 地 : 鹿児島市与次郎1丁目12-20
従業員数 : 39 名(男性 31 名、女性 8 名)

【会社の取り組み】

- ・ノー残業デー(毎週水曜日・月1回指定日)・ホームホリデー(計画的年次有給休暇)
- ・時間単位有給休暇制度・ハローパパ制度(子の出生時における父親の特別休暇)
- ・育児休業(子が3歳に達するまで)・産前産後休暇(産前6週間、産後8週間)
- ・勤務時間短縮制度(1時間または2時間を選択)・介護休業、時差勤務制度
- ・育児短時間労働、家族の看護休暇制度 等

【これまでの実績】

- ・ノー残業デー実績(2017年度下期)6ヵ月平均96.4%実施、残業実績 月平均21h
- ・有給取得率(2017年度)全社平均71.0%
- ・育児休業取得者 98名、産前産後休暇取得者 36名、出産・育児時短勤務者74名(2017年度・全社実績)

【社員の声】

多様化する働き方に合わせて、様々な制度があり、安心して働くことができる。
さらに、さまざまな制度を利用しやすい環境も整っているため、今後のライフイベントに応じて長く働いていけると思う。

【今後の取り組み・目標】

鹿児島支店として、残業時間を月平均20h以内、有給取得率75%以上を目指し、業務効率化を進め、生産性の向上を図る。また、有給取得率向上のため、毎月取得状況の報告、呼びかけを行う。

【企業・団体名】 株式会社 東条設計

代 表 者 : 代表取締役会長 東条 正博
事業内容 : 建築設計・監理
所 在 地 : 鹿児島市祇園之洲町43番地
従業員数 : 41 名(男性 31 名、女性 10 名)

【会社の取り組み】

○ノー残業デーの設置→毎週水曜日をノー残業デーとしています。
○取得しやすい休暇制度→半日単位の取得が可能。そのため子どもの行事等、参加しやすい雰囲気があります。
○フレックスタイム制度
○介護休業、子の看護休暇、育児のための所定外労働の免除、等々

【これまでの実績】

・有給休暇取得率 35.8%(平成29年度)
・育児休業取得率 女性:対象者0%、男性0%(平成29年度)

【社員の声】

・半日単位で休暇が取得できる為、学校行事(授業参観、PTA)等に参加でき、子供も喜んでくれました。(30代男性)

【今後の取り組み・目標】

・現在、週1回のノー残業デーを更に増やせるようにする。

【企業・団体名】 南国殖産 株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 永山 在紀
事業内容 : 卸・小売業
所 在 地 : 鹿児島市中央町18番地1
従業員数 : 1,111 名(男性 882 名、女性 229 名)

【会社の取り組み】

- 休暇(サポート)制度の充実
 - ・育児休業は最大1年6カ月、介護休業は通算で93日間取得可能。
 - ・有給休暇取得が半日単位で可能。
 - ・小学校4学年始期に達するまでの子供を養育する社員は、短時間勤務可能。
 - ・時間外労働の制限(小学校就学の始期に達する子を養育する社員。
 - ・子の出産時における父親の特別休暇あり。
 - ※出産前準備2日、出産時2日、退院時2日
 - ・子の看護休暇(小学校就学の始期に達する子を養育する社員)
 - ※当該子1人につき、年間5日(特別休暇)
 - ・夏期休暇4日間、冬季休暇2日間あり。(特別休暇)
 - ・リフレッシュ休暇あり。(特別休暇)
- 退社時刻(上限)の設定
 - ・21時以降の勤務を禁止(本社及び各支店)

【これまでの実績】

- 平成29年度
- 有給休暇取得率 12.1% * 別途「特別休暇(夏季・冬季)6日」あり。
 - 育児休業取得者数 8名(女性6名 男性2名)
 - 超過勤務の状況 平均月19時間/人
 - 夏休み期間に「こども参観日」を実施

【社員の声】

- 「こども参観日」に参加した。体験型のイベントとなっており、家に帰ってからでもこどもが楽しそうに話をしてくれた。(女性社員)
- 「リフレッシュ休暇」を利用し、家族旅行へ行った。子供と過ごす時間を楽しむことが出来た。(男性社員)

【今後の取り組み・目標】

- 社員一人あたりの有給取得日数を5日以上(年間)とする。
- 超過勤務時間の減少(対前年度)

【企業・団体名】 日本ガス 株式会社

代 表 者 : 代表取締役社長 津曲 貞利
事業内容 : ガス事業
所 在 地 : 鹿児島市中央町8番地2
従業員数 : 224 名(男性 183 名、女性 41 名)

【会社の取り組み】

- ノー残業デーの実施
 - ・毎週第3水曜日 ノー残業デー実施
- 取得しやすい休暇制度
 - ・有給休暇は半日単位での取得可
(小学生までの子供を養育する場合は年間30回/15日分、その他は20回/10日分)
 - ・育児介護休業制度有(短時間勤務制度有)
 - ・保存休暇制度有(最高60日間の積み立て可)
(有給休暇の積み立て制度で、本人の入院等および短期介護休暇に使用可)

【これまでの実績】

- ・有給休暇取得率 76.5%
- ・育児休暇取得率 女性100% (男性の取得は短期の取得実績1名有)
- ・超過勤務の状況 13時間/人・月
- ・短期介護休業実績有

【社員の声】

- ・有給休暇は取得しやすく、半日休暇も取得できることから、様々な用事を済ませることが出来る。
- ・育児休暇を取得しやすい環境であることから、復帰しても以前と変わりなく仕事が出来ることがありがたい。また、復帰後は短時間勤務もできることから仕事と育児の両立ができる。

【今後の取り組み・目標】

- ・ノー残業デーを増やす予定
- ・男性の育児休暇取得を推進すると共に、働き方改革による業務効率化で、実質的な育児時間の増加を目指している。
- ・会社全体で育児に協力できる社風づくりに取り組む。

【企業・団体名】 株式会社日本政策金融公庫 鹿児島支店

代 表 者 : 支店長 阿部 吉憲
事業内容 : 金融業
所 在 地 : 鹿児島市名山町1番26号
従業員数 : 84 名(男性 61 名、女性 23 名)

【会社の取り組み】

○メリハリのある働き方の推進
・ノー残業デー週2日の実施
・計画的な休暇取得の促進
○利便性向上に向けた取り組み
・育児休業は最長2年、介護休業は最長1年
・小学校3年生終了時まで1日につき2時間まで勤務時間の短縮が可能。介護も1日2時間まで。
・育児も介護も、始業・就業時刻の繰り上げ又は繰り下げが可能
・フレックスタイム制(小学3年生終了時まで、コアタイム9:50～15:10)採用。介護も同様の制度。
・妻の出産前後に出産休暇(男性)3日取得可能、育児参加のための休暇(男性)5日取得可能
・出産特例や育児特例、介護特例等のライフステージに合わせた様々な転勤特例制度を整備

【これまでの実績】

・女性総合職の新卒採用比率43.7%(2018年度)、2009年度から30%以上の採用比率を継続
・管理職に占める女性の割合5.1%(2018年度)
・男性の育児関連休暇合計3日以上取得率100%(2017年度)
・2009年から管理職向けダイバーシティマネジメント研修を実施

【社員の声】

・上司の勧めで、妻が職場復帰するタイミングでフレックスタイムを利用し始めました。妻も公庫職員のため2人で使っています。基本的に保育園への送りは自分、お迎えは妻と分担しています。
・組織として休暇の取得を推奨しているため、スムーズに休暇が取得できました。里帰り出産だった妻の出産立会い、病院へのお迎え、役所手続き等に育児関連休暇を活用しました。

【今後の取り組み・目標】

・管理職に占める女性の割合:2023年4月時点で7%以上目標
・2018年度の男性育児関連休暇合計5日以上取得率の目標100%

【企業・団体名】 株式会社 Misumi

代 表 者 : 代表取締役社長 岡 恒憲

事業内容 : 卸小売業

所 在 地 : 鹿児島市卸本町7-20

従業員数 : 455 名(男性 381 名、女性 74 名)

【会社の取り組み】

リフレッシュ休暇制度(連続5日間休暇)

【これまでの実績】

有給休暇取得率 24.4%(平成29年度)
超過勤務の状況 1人1月3.8時間(平成29年度)
育児休業取得率 女性100% 男性0%(平成29年度)

【社員の声】

【今後の取り組み・目標】

・男性の育児休業取得
・フレキシブルな勤務体系の導入

【企業・団体名】 株式会社 南日本銀行

代 表 者 : 取締役頭取 森 俊英
事業内容 : 銀行業
所 在 地 : 鹿児島市山下町1-1
従業員数 : 943 名(男性 495 名、女性 448 名)

【会社の取り組み】

毎週水曜日のノー残業デー
・パソコンシャットダウン時刻午後7時設定

【これまでの実績】

育休取得率 女性100% 男性26%(平成29年度)
超過勤務 月平均18.2時間(平成29年度)
有給取得率 53.7%(平成29年度)

【社員の声】

複数回の育休取得が出来る職場環境でありがたいです。

【今後の取り組み・目標】

数値目標はありませんが、男性の育休を増加させたい。

【企業・団体名】 株式会社 山形屋

代 表 者 : 代表取締役社長 岩元 修士
事業内容 : 小売業
所 在 地 : 鹿児島市金生町3番1号
従業員数 : 845 名(男性 307 名、女性 538 名)

【会社の取り組み】

- ノー残業デーの設置
・毎週木曜日と日曜日をノー残業デーとしています。
- 取得しやすい休暇制度
・有給休暇を半日単位で取得可能です。(5日10回分まで)
・育児休業は満1歳2ヶ月に達するまで取得可能です。
・小学3年生4月末まで育児短縮勤務が取得可能です。

【これまでの実績】

- ・時間外労働の平均: ▲0.8%(平成29年度実績)
- ・年休の1人平均取得日数: 1.0%UP(平成29年度実績)

【社員の声】

- ・平成30年4月より、育児短縮勤務取得が、小学2年生4月末から、小学3年生4月末まで伸びありがたい。

【今後の取り組み・目標】

- ・時間外労働の削減と年次有給休暇取得促進を図る。